

審議テーマ

人口構造・社会構造の急速な変化や地域生活課題の複雑化・複合化に加え、新型コロナウイルス感染症が顕在化させた課題や、デジタル化の一層の加速も踏まえた、**2040年代を視野に入れた東京の中長期的な福祉施策のあり方**を検討

意見具申のポイント

検討の前提となる社会の変化等

○戦後日本社会の構造的な変化

- ・単独世帯の増加、非正規雇用者やフリーランス等の増加、それを背景とした標準的なライフコースの変化
- ・地域の担い手の減少や変化、生活困窮支援の変化、住環境の変化など

○コロナ禍で顕在化した課題や社会の変化

- ・サービス業等を中心とした経済的活動への影響、感染拡大防止の取組による活動制限や交流機会の減少など
- ・女性の不安定な就業環境、脆弱な生活基盤の世帯、孤独・孤立の深刻化等の顕在化

今後の取組に向けた視点

○既存の制度では対応が困難な複雑化・複合化した課題

○高齢者に関すること

- ・単身高齢者の増加等による日常生活の支援全般を視野に入れた広い視点での取組や、そのための人材確保

○障害者に関すること

- ・障害者を支える親等の高齢化や高齢化した障害者を踏まえた親亡き後への備え、高齢化した障害者へ対応するための人材育成の仕組み

○子供に関すること

- ・親の就労の有無や状況等に左右されない、子供自身の育ちを保障する保育、教育、療育サービスの提供

○女性に関すること

- ・女性が直面する構造的な問題を踏まえ、福祉、労働、住まい等、広く関連する様々な施策の連携・活用

○支援が届きにくい層へのアプローチ

○相談支援の重要性

- ・当事者に寄り添い伴走しながら支援し、多機関と連携していくため、相談支援の強化が必要

○包括的な支援体制

- ・自ら相談窓口につながらない当事者を発見するためのアウトリーチをし、更にコミュニケーションを重ね専門的知見から必要な支援先へつなぐ包括的な体制の必要性

○オンラインや多様なつながり

- ・血縁や地縁に基づかない多様なつながりが広がっており、こうした多様なつながりは、情緒的なサポートという面にも効果が期待

○多様化する地域社会や福祉の担い手の課題と新たな視点

○新たな年齢層（現役世代）の活用

- ・様々な立場の人が地域の担い手になれる仕組み、新たな住民組織の形成や育成を促す視点、テーマ別の地域活動等を促進する視点が重要

○企業との連携

- ・企業における社会貢献への取組がより活発になっており、行政側からも積極的にアプローチし、連携していくこと

○福祉人材対策とデジタル技術の活用

- ・人材確保のため、公共性、専門性の高い仕事として継続して働ける環境整備や、質の高いサービスを提供し続けるためにDXを進めること

高齢や障害分野などの次期計画に意見具申で示した様々な視点が具体的な取組として反映されることを期待